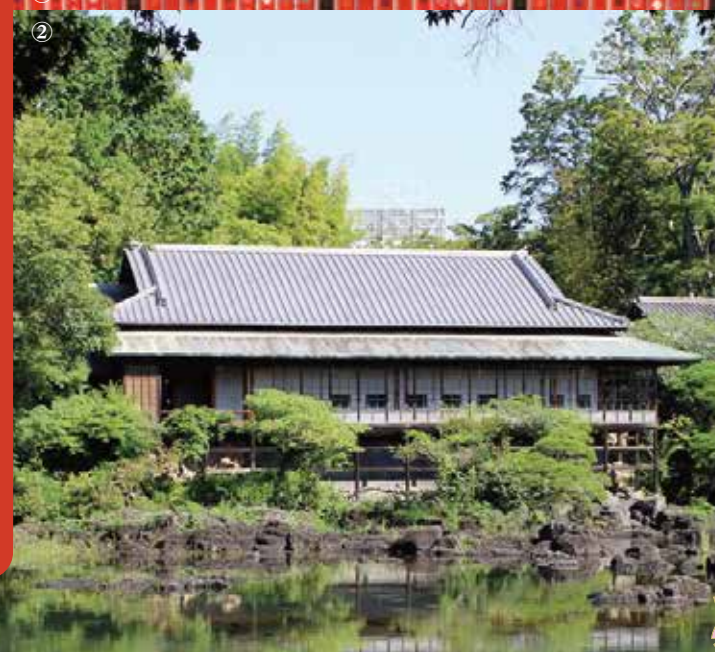


市制施行80周年・開館50周年記念企画展

仁和寺と三島

—宮様が結んだ縁—



①
②

令和四年一月十五日(土)
三月二十七日(日)

①純仁法親王像(草野龍雲画、総本山仁和寺蔵)
②楽寿館(画像提供:楽寿園)

協力:真言宗御室派・総本山仁和寺

三島市郷土資料館

車イス・ベビーカーOK

〒411-0036 静岡県三島市一番町19-3 楽寿園内

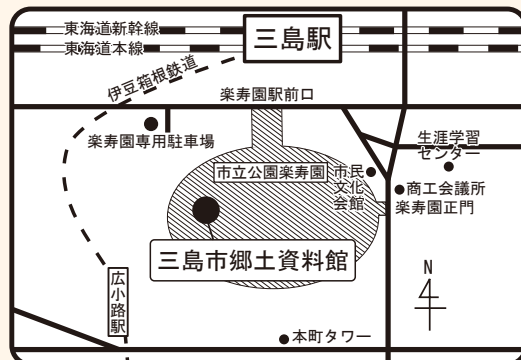
TEL 055-971-8228

開館時間 午前9時～午後4時半
※楽寿園入園は閉館30分前まで
※初日は12時より一般公開

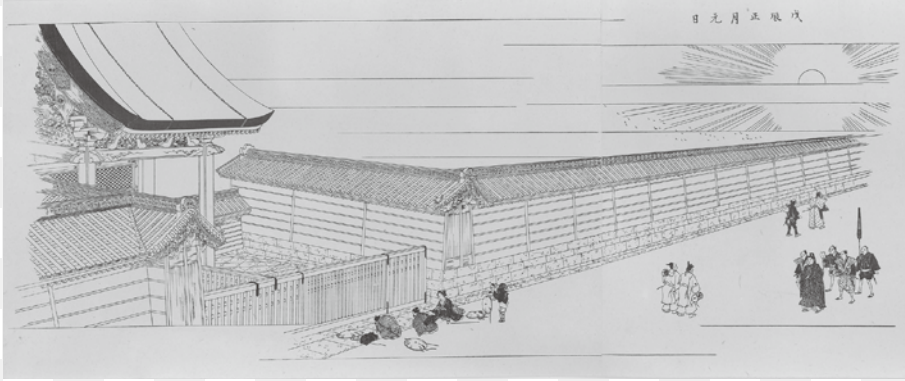
休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

入館料 無料

(但し楽寿園入園料として15歳以上300円、学生は学生証提示で無料)



②



①



③



四季折々の自然と明治時代の数寄屋建築に親しめる楽寿園は、三島市民から広く愛される美しい公園です。楽寿園の歴史は明治時代、当時陸軍で活躍していた小松宮彰仁親王が小浜池周辺を整備し、別邸としたことからはじまります。

小松宮は江戸時代、仁和寺の門跡をつとめており、小松宮という宮号も仁和寺が位置する一帯の古い地名・小松郷に由来します。幕末の動乱期に還俗(僧侶でなくなる)を命じられ、以降軍人皇族として活躍した宮ですが、楽寿園内に今も残る楽寿館や梅御殿には京風の美があちこちにちりばめられており、宮の京都への思いがうかがえます。

今回の企画展は、仁和寺に伝わる小松宮ゆかりの品々を通じて、京都・仁和寺と三島・楽寿園の縁をご紹介します。

④



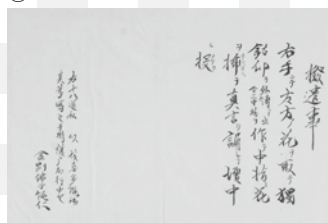
仁和寺について

仁和4年(888)創建の京都の名刹です。代々皇室出身者が門跡をつとめ(宮門跡)、平安～鎌倉期には門跡寺院として最高の格式を保持しました。応仁の乱(1467～1477年)で伽藍のほとんどが焼失し、江戸時代に再興しました。慶応3年(1867)にのちに小松宮となる純仁法親王が還俗したことにより、宮門跡の歴史を終えました。昭和に入り真言宗御室派の総本山となり、平成6年(1994)ユネスコの世界遺産に登録されました。御室桜とよばれる桜の名所としても有名です。

⑤



⑦



⑥



①②③「戊辰戦争絵巻」上巻(仁和寺蔵)

④楽寿館内・楽寿の間(画像提供:楽寿園)

⑤小松宮肖像写真(仁和寺蔵)

⑥杉戸絵「藤園」草野龍雲画、三島市指定文化財

⑦純仁法親王自筆第十八道私註

関連事業

真言宗御室派・総本山仁和寺よりゲストをお招きして講演会を行います。

日時 令和4年2月26日(土) 午後1時45分から午後3時(開場は午後1時20分)

場所 三島市民生涯学習センター 3階 講義室

定員 65名(郷土資料館HPからの電子申請もしくは電話による申込が必要、応募多数時抽選)

問合せ 三島市郷土資料館(055-971-8228/kyoudo@city.mishima.shizuoka.jp)



電子申請はコチラ